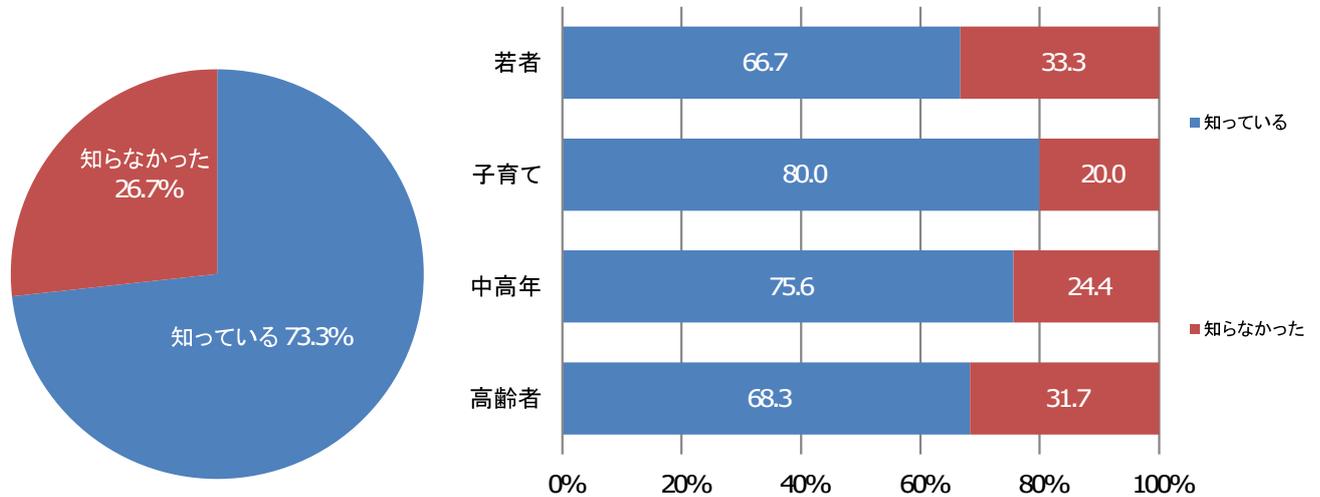


<水道料金について>

■問1 水道事業は税金ではなく利用者からの料金収入で運営していることの認知度

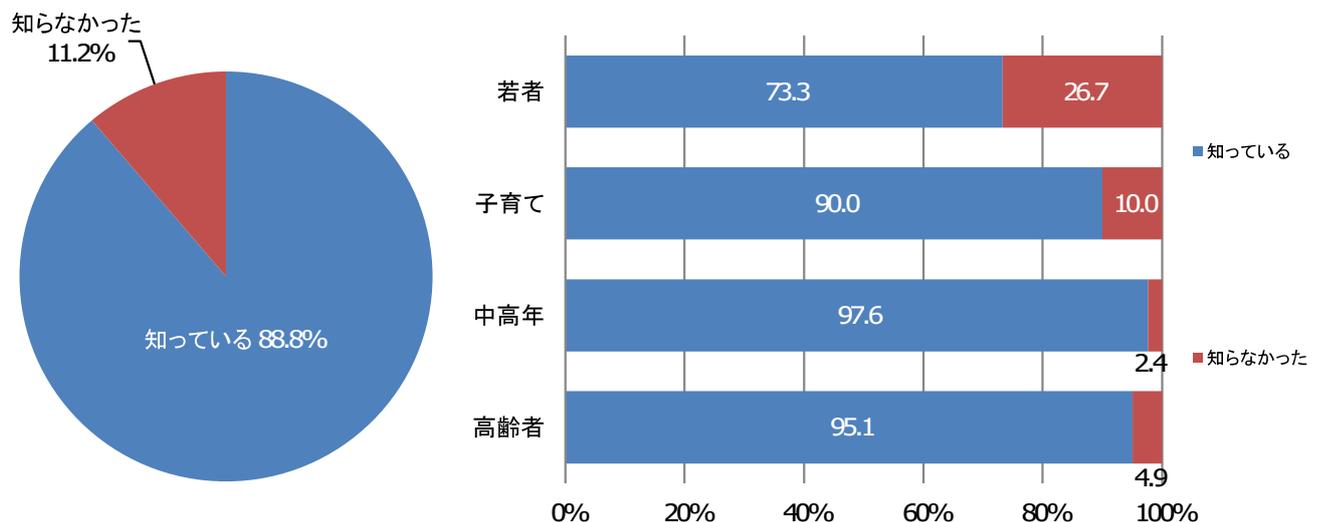
(N=187)



- 水道事業は税金ではなく利用者からの料金収入で運営していることの認知度については、「知っている」が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者・高齢者の約7割、子育て・中高年の約8割が「知っている」と回答しています。

■問2 水道料金が毎月固定の基本料金と使用水量に応じた従量料金の2種類で構成されていることの認知度

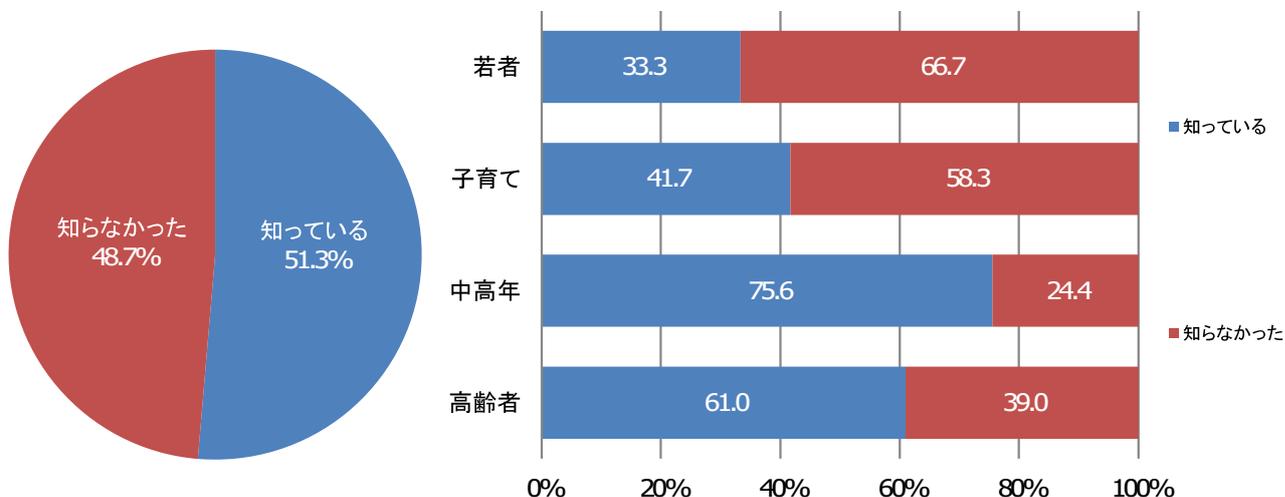
(N=187)



- 水道料金が毎月固定の基本料金と使用水量に応じた従量料金の2種類で構成されていることの認知度については、「知っている」が約9割となっています。
- 世代別にみると、若者の約7割、子育ての約9割、中高年・高齢者の約10割が「知っている」と回答しています。

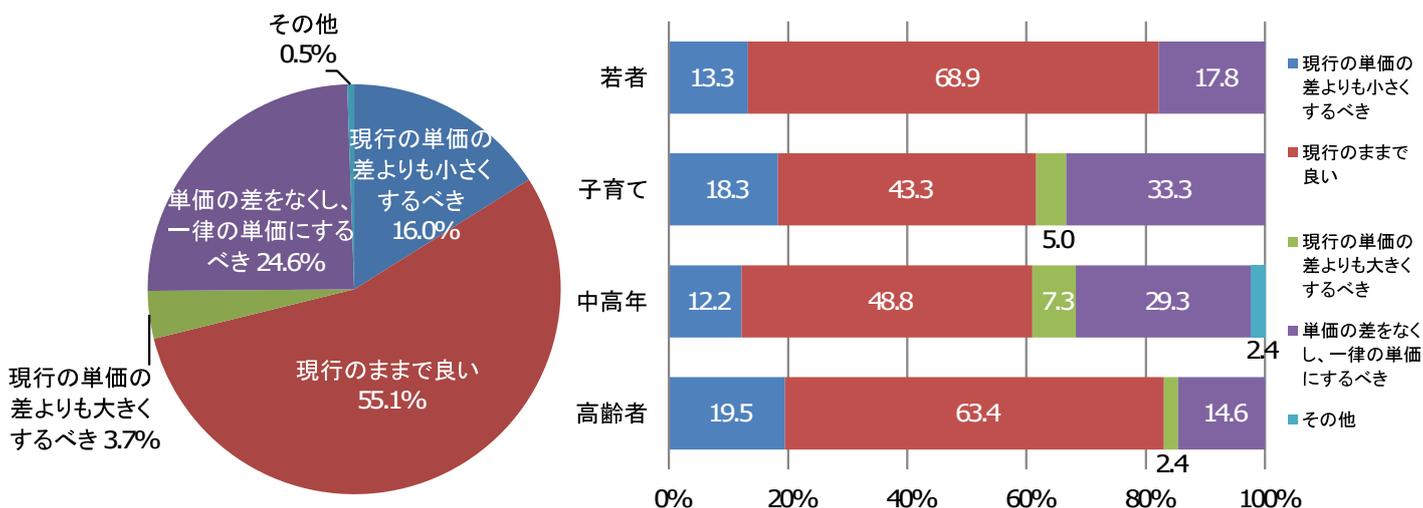
問3 浜松市の水道料金は使用水量が増えるにつれて段階的に単価が高くなる料金体系※であることの認知度 (N=187)

※ 最低単価: 税込44円/㎡(10㎡まで)、最高単価: 税込220円/㎡(500㎡超)



- 浜松市の水道料金は使用水量が増えるにつれて段階的に単価が高くなる料金体系であることの認知度については、「知っている」「知らなかった」ともに約5割となっていますが、「知っている」がやや上回っています。
- 世代別にみると、若者・子育てでは「知らなかった」が、中高年・高齢者では「知っている」が多くなっています。

問4 使用水量が多くなるほど単価が高くなる水道料金体系をどう思うか (N=187)

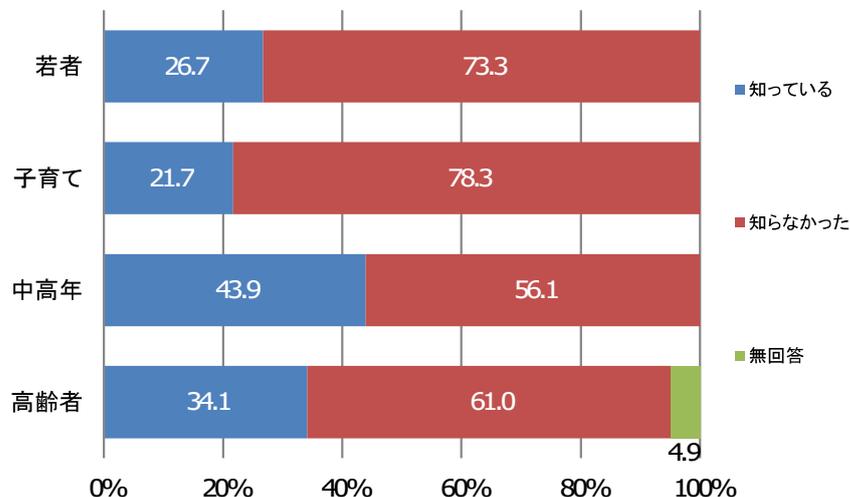
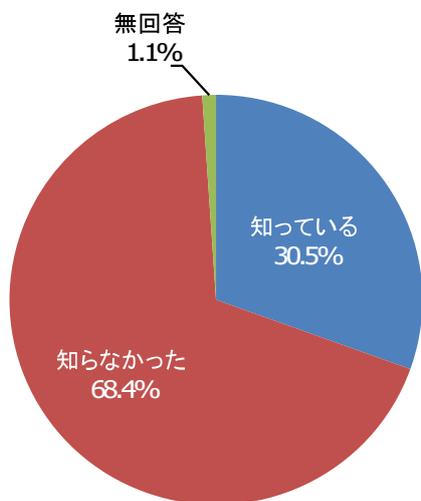


- 使用水量が多くなるほど単価が高くなる水道料金体系をどう思うかについては、「現行のままで良い」が約6割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「現行のままで良い」が最も多い回答となっています。

■問5 水道料金収入の大半が固定的な経費※のために使われていることの認知度

(N=187)

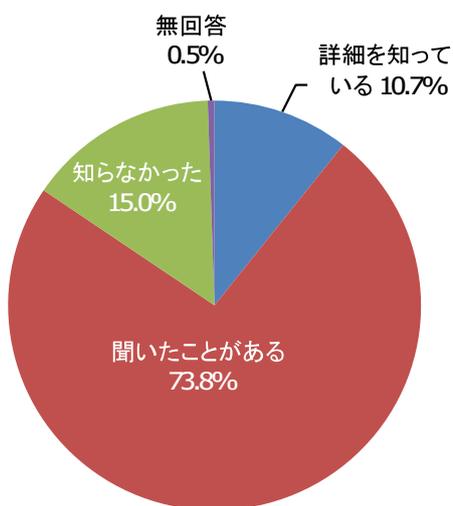
※ 過去の建設投資に対する費用や施設修繕費など



- 水道料金収入の大半が固定的な経費のために使われていることの認知度については、「知らなかった」が約7割となっています。
- 世代別にみると、若者の約7割、子育ての約8割、中高年・高齢者の約6割が「知らなかった」と回答しています。

■問6 水道管が将来的に日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていることの認知度

(N=187)

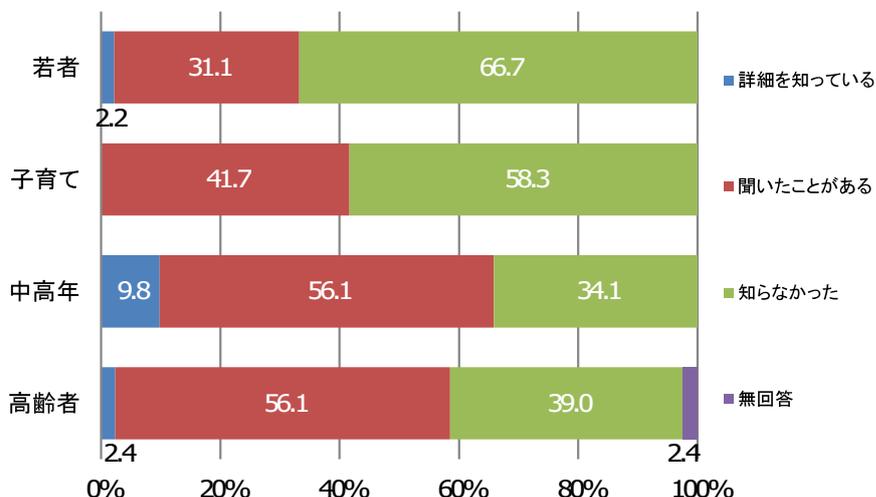
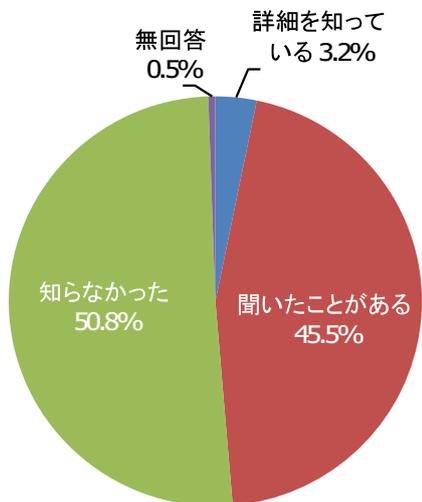


- 水道管が将来的に日常生活に影響を及ぼすリスクを抱えていることの認知度については、「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計が約8割となっています。
- 世代別にみると、世代が高くなるにつれて「詳細を知っている」と「聞いたことがある」の合計の回答割合が高くなっています。

問7 水道管などの更新費用増大のため経常収益※1を増加させる必要があるとの試算があること※2の認知度 (N=187)

※1 水道料金、手数料、他会計負担金等のこと

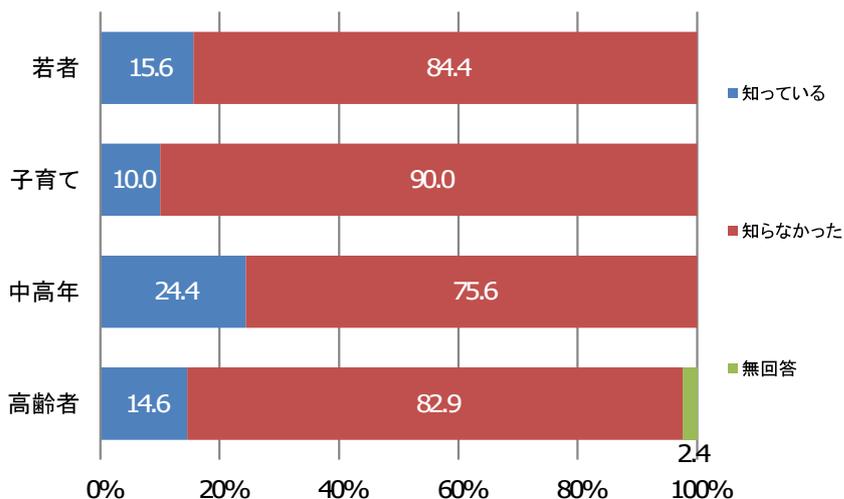
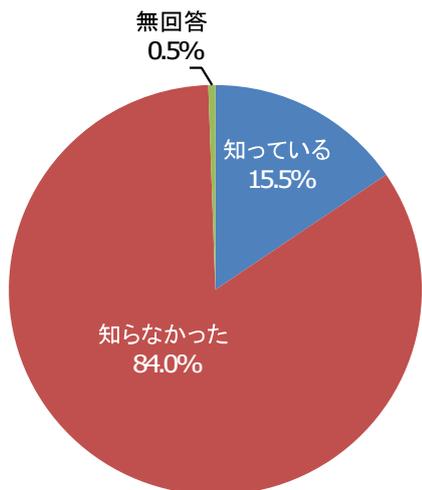
※2 浜松市水道事業アセットマネジメント計画[改定版](2021年12月策定)本編19ページ
【URL】<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/sd-kouji/asetto/asettomanejimento.html>



- 水道管などの更新費用増大のため、経常収益を増加させる必要があるとの試算があることの認知度については、「知らない」が約5割となっています。
- 世代別にみると、若者の約7割、子育ての約6割、中高年の約3割、高齢者の約4割が「知らない」と回答しています。

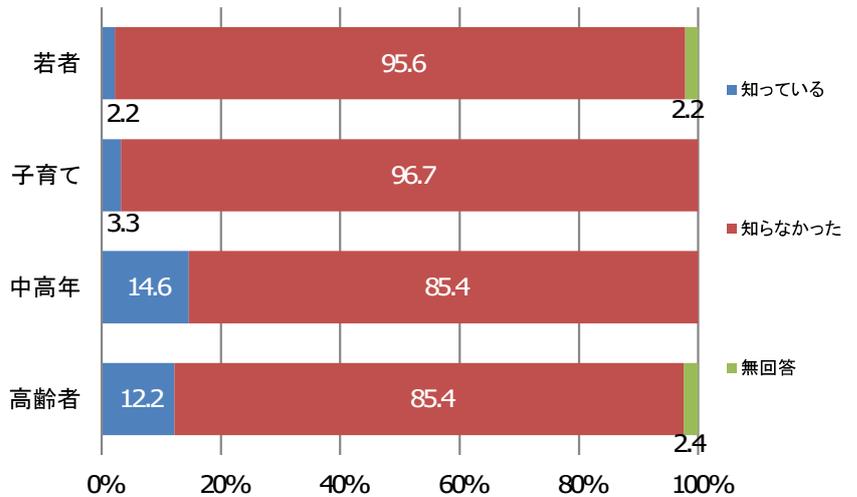
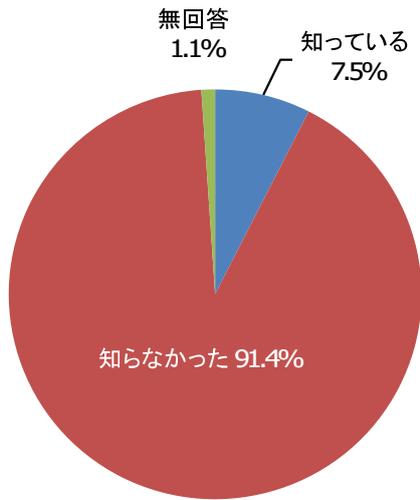
問8 浜松市の一般家庭の水道料金が他政令市と比べると安価であること※の認知度 (N=187)

※ 令和4年1月1日現在、一般家庭(口径13mm、月20㎡利用)の場合、浜松市は税込2,156円で政令指定都市の中で2番目に安い水道料金。なお、政令指定都市の平均は税込2,683円。



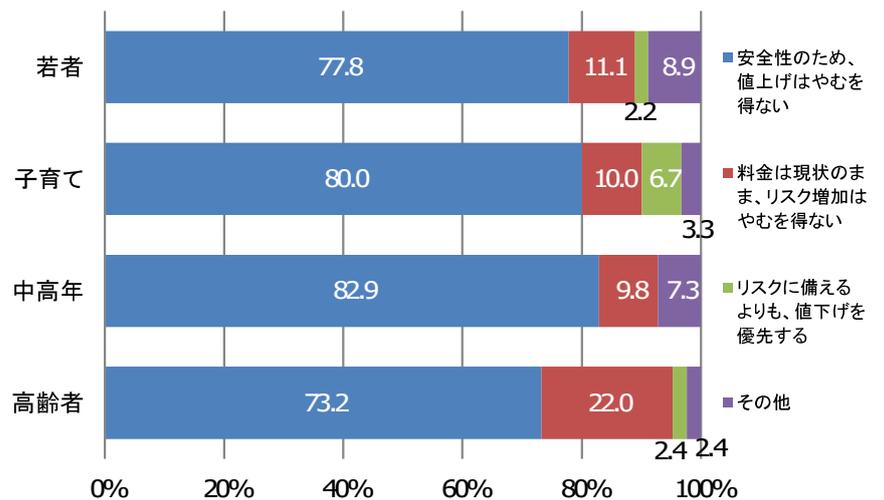
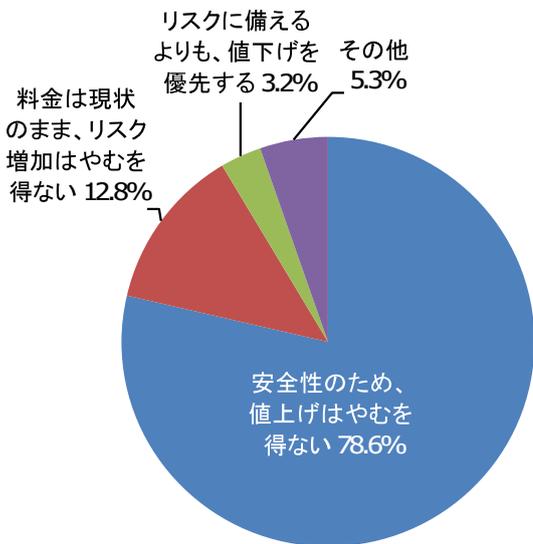
- 浜松市の一般家庭の水道料金が他政令市と比べると安価であることの認知度については、「知らない」が約8割となっています。
- 世代別にみると、若者・中高年・高齢者の約8割、子育ての9割が「知らない」と回答しています。

■問9 浜松市の水道料金が消費税率変更に伴う改定を除き14年間一度も改定を行っていないことの認知度 (N=187)



- 浜松市の水道料金が消費税率変更に伴う改定を除き14年間一度も改定を行っていないことの認知度については、「知らなかった」が約9割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育ての約10割、中高年・高齢者の約9割が「知らなかった」と回答しています。

■問10 安全性確保のための水道管等更新と水道料金の値上げのバランスについてどう思うか (N=187)



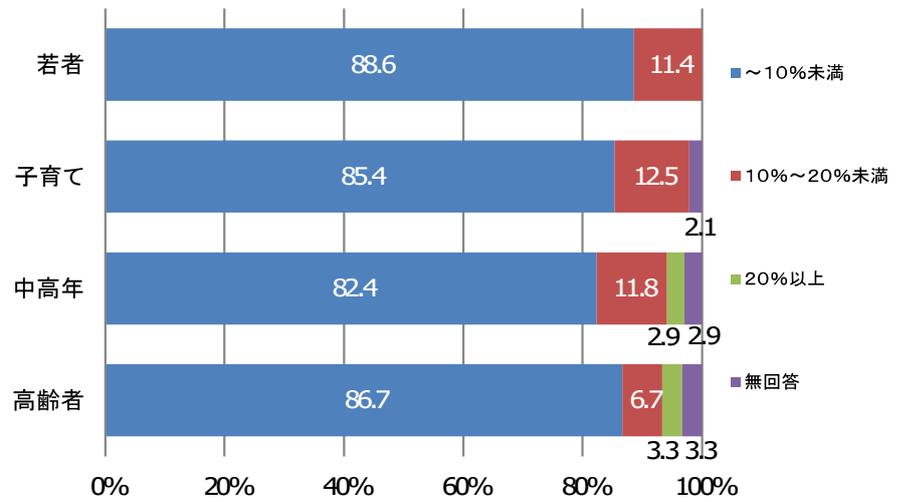
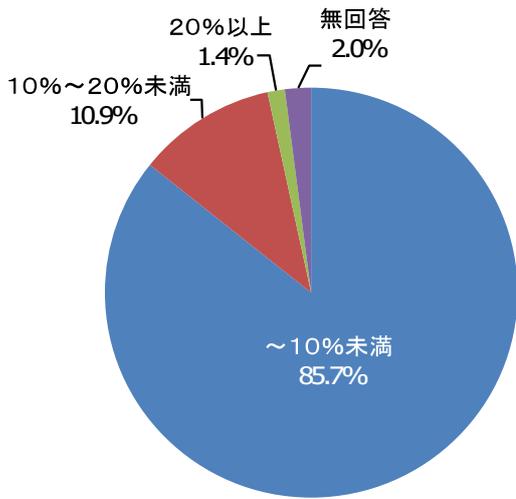
■その他意見

- ・今の収益で安全性確保に努める
- ・安全性第一だが値上げ率が問題
- ・安全性確保と水道料金値下げ
- ・公金投入して設備改修する

- 安全性確保のための水道管等更新と、水道料金の値上げのバランスについてどう思うかについては、「安全性のため、値上げはやむを得ない」が約8割となっています。
- 世代別にみると、若者・子育て・中高年の約8割、高齢者の約7割が「安全性のため、値上げはやむを得ない」と回答しています。

■問11 受け入れられる水道料金改定(値上げ)率 (N=147)

(問10で「1 安全性確保のためであれば水道料金の値上げはやむを得ない」と回答した方)



- 受け入れられる水道料金改定(値上げ)率については、「~10%未満」が約9割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「~10%未満」が最も多い回答となっています。